

第2回G-COE分析機器ワークショップ

-液体クロマトグラフィー/タンデム質量分析法-

液体クロマトグラフィー/タンデム質量分析計 (LC/MS/MS) についてワークショップを開催します。ガスクロマトグラフィー (GC) および液体クロマトグラフィー (LC) /質量分析計 (MS) は、環境分析を行う上で不可欠の分析装置です。このなかでもGC/MSは有機塩素系化合物やダイオキシンなどの低極性、高揮発性の化合物の分析に適しています。しかしながら、サンプル調製や誘導体化の作業に多大な時間と手間を要し、クロマトグラフィー分離のための時間が長いことから、近年、環境分析にLC/MS/MSの利用が進んでいます。これまでGCでは分析が困難な、全フッ素置換化合物や医薬品類、パーソナルケア製品などの高極性、難揮発性の化合物に加え、熱に不安定な半揮発性極性化合物の分析にもLC/MS/MSは最適な分析法です。さらに最近では、LC/MS/MSは「適応範囲の広さ、高感度、優れた選択性」を有するため、食品残留農薬や環境汚染物質の一斉分析法としても注目されています。

今回、AB SCIEXのトリプル四重極 (トラップ機能付き) QTRAP5500LC/MS/MSシステムを用いて、LC/MS/MSのアプリケーションや基礎的な測定技術、応用例について幅広く紹介いたします。

場所：愛媛大学理学部構内、総合研究棟1増築棟4階会議室

日時：7月27日 (火曜日)
午後1時～午後5時 (予定)

講師：小椋 哲雄先生 (株式会社エービー・サイエックス)

主催：愛媛大学グローバルCOEプログラム「化学物質の環境科学教育研究拠点」

共催：株式会社エービー・サイエックス

参加費：無料

定員：15名程度



AB SCIEX Triple Quad™ 5500
LC/MS/MS system

本ワークショップは愛媛大学および本 GCOE プログラム関連の若手研究者 (PD・DC) を対象としますが、他大学・研究機関の若手研究者の参加も歓迎いたします。なお、遠方から参加を希望する方には旅費等の援助を行いますので、希望する場合は事前にご連絡ください

問い合わせ先：
COE 支援室愛媛大学沿岸環境科学
研究センター
E-mail: global@dpc.ehime-u.ac.jp
Tel./Fax: 089-927-8178/8167